

Rational. software

IBM Rational ClearQuest バージョン 7.1

ハイライト

- リアルタイムの統合されたレポート作成およびプロセスの実施により、プロジェクトの可視性と管理を強化
- 統合され、自動化されたエンドツーエンド・プロセスにより、迅速なソフトウェア・デリバリーをサポート
- エンタープライズ品質管理により、ソフトウェア品質を向上
- 自動化されたワークフローにより、チームのコミュニケーションと協調を合理化
- アクセス制御、電子署名、繰り返し可能なプロセス、監査証跡、およびライフサイクル・トレーサビリティに関するセキュリティに対応
- 小規模なワークグループから地理的に分散した企業まで、幅広く対応

ソフトウェア開発やシステム開発を行う組織には、いくつかの共通点があります。いくつかの都市、国、大陸に分散しうるチームのチームワークに依存し、デリバリー方法では、時間がかかり、エラーの発生しやすい手作業の数を減らす必要があり、コンプライアンスおよびレポート作成を簡素化する必要もあります。

IBM Rational® ClearQuest® 変更管理ソフトウェアは、ソフトウェアのライフサイクルをより効率的に管理することを目的としており、これにより、より優れた意思決定を行うために必要な情報にアクセスできます。また、タスクやスケジュールをより効率的に管理し、お客様のニーズに迅速に対応できるよう支援します。Rational ClearQuest の自動化されたワークフローは、要件定義から実稼働までの開発プロセスを管理および実行し、チームのコミュニケーション、生産性、および品質を向上させるために役立ちます。

可視性の向上と管理の強化

異種のシステムおよびプロセスは、調整面で重大な問題を引き起こす可能性があり、これにより、本来関連付けられるべきプロセスをチームが協力して実施することが困難になります。Rational ClearQuest を使用すれば、一貫した開発プロセスをカスタマイズして実行すると共に、プロジェクト全体で統合されたビューを表示できるようになります。

プロセスの自動化

繰り返し、実施、および予測が可能なプロセスを作成することを目的としている Rational ClearQuest には、すぐに使用できるワークフローが用意されており、プロジェクトを即時に開始するために、簡単にカスタマイズして素早く実装することができます。状態とアクションを定義でき、フィールドを追加することも、リストを変更することも可能です。必須フィールドにより、正確なデータが確実に収集されるようにしています。また、電子メールによる通知を使用して、応答時間を短縮し、変更および更新の連絡をチーム・メンバーが常に得られるようにします。

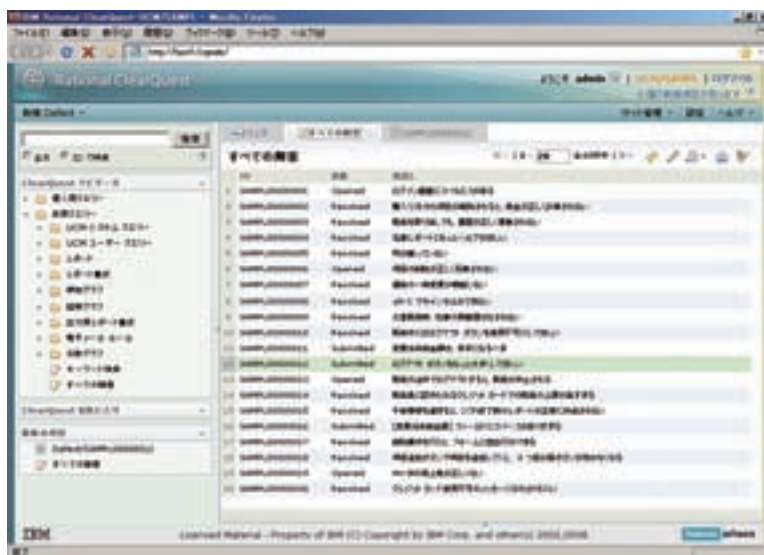


図1 ClearQuest Web

ソフトウェア品質の強化

Rational ClearQuest は、異種のプロジェクト機能およびプロジェクト・グループ間のやりとりを自動化することで、手動のプロセスやハンドオフ、伝達ミス、および一貫性のない情報によって引き起こされるソフトウェア・エラーを排除します。組み込みの障害および変更追跡機能は、エンタープライズ品質管理機能と連携して、開発およびテスト作業を統一して、手順がスキップされたり不完全なアクティビティが発生しないようにすることを目的としています。合理化されたプロセスは、より迅速で高頻度のテスト・サイクルを実現できるため、修正にかかるコストが比較的安価なソフトウェア・デリバリー・サイクルの早い段階でエラーを検出できます。

チーム・コラボレーションの強化

Rational ClearQuest は、分析、開発、テスト、およびデプロイメントにおいて、典型的なサイロ化プロセスを統合することで、チームのコミュニケーションと調整を改善します。生産性の向上だけでなく、自動化されたワークフローと電子メールによる通知により、対応が必要なときに適切なチーム・メンバーが即時にアラートを受信できるようになりました。チーム・メンバーは、アクティビティに影響する可能性がある変更や更新に関する全般的な情報も受信します。チーム全員が、同じ情報に基づいて作業することで、問題が素早く表面化し、その問題による影響をリアルタイムに協力して修正することができます。

開発におけるセキュリティ機能の充実

ユーザー認証、ユーザー許可、電子署名、および監査証跡などのセキュリティ機能は、社内および社外の要件を満たすために重要です。

ユーザー認証は、ユーザーの Rational ClearQuest ディレクトリー、または Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) を使用した業界標準ディレクトリー・サーバー経由で実行されます。SSL (Secure Sockets Layer) 暗号化のサポートは、Rational ClearQuest と LDAP ディレクトリー間でセキュリティ機能の充実したコミュニケーションを実現します。

ユーザー許可は、Rational ClearQuest ユーザー・データベース経由で実行されます。7.1 リリースは、ファイル・システム上に存在する暗号化されたパスワードを、FIPS (Federal Information Processing Standard) 140-2 認定アルゴリズムを使用して暗号化されたパスワードに置き換えます。ただし、この機能はデータベース内のユーザー・パスワードには変更を加えません。また、スクリプトを使用して主要なセキュリティ・チェックポイントのアクセス制御も拡張できます。さらに、これらの機能は、許可された個人のみが変更を実行できるようにします。

Rational ClearQuest は、誰が、いつ、何を、なぜ変更したかを記録します。アクティビティに対する変更は、アクティビティの履歴で追跡されます。

また、電子署名によって、特定のアクションを実行する個人の ID が検証されます。ソフトウェア・ライフサイクルのすべてのトランザクションを文書化することで、すべてのアクティビティの発生と詳細を追跡し、許可とサインオフを検証できます。

ALM による管理の簡素化

Rational ClearQuest には、すぐに使用できるアプリケーション・ライフサイクル管理 (ALM) スキーマが用意されています。これには、スキーマとパッケージの両方が含まれます。プロセス・モデルは、要求がタスクとして計画されアクティビティとして実行される、プロジェクトのコンテキスト内で作業が完了されることに重点を置いています。ALM ソリューションでは、プロジェクトのフェーズおよび反復間で負荷を分散できるだけでなく、各プロジェクト・チームが固有のニーズに合わせて構成をカスタマイズできます。

リアルタイムのレポート作成とメトリクスのサポート

Rational ClearQuest では、クエリー、グラフ、およびレポート作成を包括的にサポートすることでプロセスを洞察できます。簡単に作成および改良が可能な、分布、傾向、および経時グラフにより、複雑なデータを視覚化し、必要な領域のデータにドリル・ダウンできます。

また、Rational ClearQuest には柔軟なレポート作成メカニズムがあるためチーム・メンバーそれぞれが開発アクティビティに素

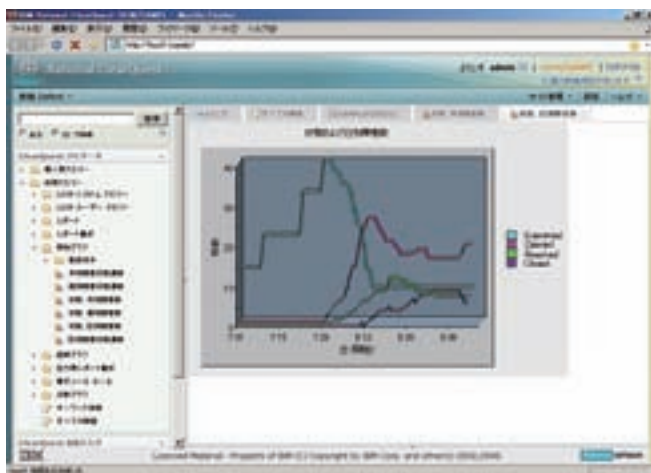


図2 ClearQuestグラフ表示の例

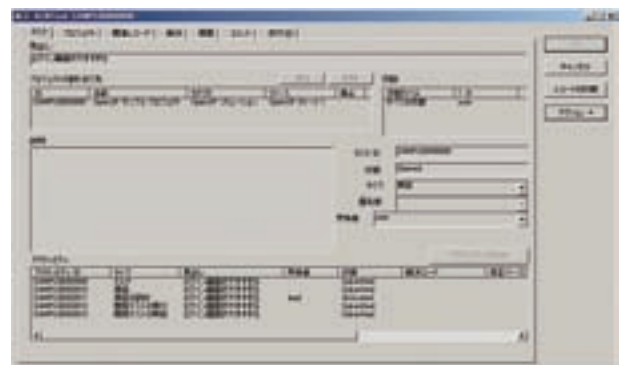


図3 ALMタスクのレコード例

早くアクセスすることができます。データを Rational ClearQuest から取得し、SAP BusinessObjects XI (Crystal Reports を含む)、Eclipse Business Intelligence and Reporting Tools (BIRT)、および Actuate BIRT 製品などの多様なレポート作成エンジンで使用できます。このレポート作成モデルを使用して、開発チームはリアルタイム・レポートやメトリクスに全社レベルで柔軟にアクセスできます。

さらに、Rational ClearQuest 用のレポート・サーバーによって、チームは Web ブラウザーからレポートを管理および作成できます。Web サーバーへのアクセスは、Rational ClearQuest ログイン認証によって制御され、いつでも、どこからでも、レポートの作成および管理が行えます。

アクティビティ・ベースの変更管理

Rational ClearQuest と Rational ClearCase® を合わせて使用することにより、ソフトウェア・アセットに対する変更がアクティビティとして定義および管理されます。統一された変更管理機能により、Rational ClearCase アプリケーションのファイル・バージョンは論理アクティビティにグループ化され、Rational ClearQuest アプリケーションの変更要求に関連付けられます。このアクティビティ・ベースのアプローチにより、開発者は個別のファイルを管理するのではなく、タスク・レベルで作業を管理できます。これにより、ビルド・エンジニアはビルドに正しいファイルが組み込まれていることを確認できます。テスト担当者は、正しい機能およびビルドがテストされていることを容易に確認できます。品質保証エンジニアは、ビルド間での変更を迅速に確認し、検証できます。また、プロジェクト・マネージャーは、プロジェクトの状況を、より適切に追跡できます。

統合ツール	機能
IBM Rational ProjectConsole™	プロジェクト全体の傾向を表示して分析するためにリアルタイムのグラフィカルなダッシュボードを提供します。
Microsoft® Project	スケジュールやリソースを、より適切に管理できるようにします。
IBM Tivoli® Provisioning Manager	承認されたビルド・ファイルをソース・コード・コントロールから直接デプロイすることで、承認済みビルドのデプロイを促進します。
IBM Rational Build Forge®	ビルドおよびリリース管理の自動化、ビルド・レコードの作成と更新、アプリケーションをビルドするプロセスの追跡と自動化を行います。
IBM Rational RequisitePro®	要求レコードを複製します。レコードを、障害登録、ビルド・レコード、およびテスト・ケースなどの他の開発アセットと関連付け、アクティビティ、変更要求、およびテスト・データなどの Rational ClearQuest 情報に関する分析を行います。
テスト実行ツール	各種のテスト・ツールで作成されたテスト実行スクリプトをテスト・ケースとマップします。また、レポート作成および分析に使用するテスト結果を自動的に取得します。
要求、コード、ビルド、開発、テスト、およびデプロイメントのツール	アセットをリンク付けすることで、トレーサビリティをソフトウェア・デリバリー・ライフサイクル全体に拡張します。また、デプロイするレコードを相互に関連付けるとともに Rational ClearQuest レコードとも関連付けて、どのビルドがテストおよびデプロイされたかを追跡します。

他のツールとの統合

Rational ClearQuest は、Rational ClearCase とシームレスに連携できるだけでなく、他の多くのソフトウェア開発ツールとも統合できるように設計されています。

卓越したスケーラビリティの実現

Rational ClearQuest を配置することにより、多くのサイトで作業する膨大な数のユーザーをサポートできます。幅広いアクセス機能により、ローカルおよびリモートのすべてのチーム・メンバーが最新の情報にいつでも、どこでも仮想的にアクセスできます。チームが単一の場所で働く小規模なワークグループでも、

複数の地域に広範囲に分散しているチームでも、Rational ClearQuest は柔軟性とスケーラビリティによって組織のニーズをサポートします。

障害と変更の追跡

Rational ClearQuest の障害および変更追跡機能により、プロジェクト・ライフサイクルを通してアクティビティを管理できます。Rational ClearQuest は、問題を文書化し解決に向けて管理することで、クローズド・ループの変更管理を実施します。これにより、より優れたプロジェクト管理が実現し、ソフトウェア品質の向上に役立ちます。

IBM Rational Lifecycle Package with ClearCase ソリューションの使用

ベスト・プラクティスを一貫して活用し、情報をチーム全体に効率的に伝達し、変更による影響を分析および管理してビジネスの生産性を向上させるために、IBM は Rational Lifecycle Package を作成しました。このバンドルには、Rational ClearQuest、Rational Method Composer、および Rational RequisitePro が含まれ、大規模から小規模まで、幅広い企業をサポートします。Rational ClearQuest バージョン 7.1 は、単独またはこのバンドルの一部として、コラボレーション、自動化、およびレポート作成の機能によってビジネス目標の達成をサポートする拡張機能を提供します。

追加情報

IBM Rational ClearQuest バージョン 7.1 の詳細については、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下にアクセスしてください。

ibm.com/jp/software/rational/products/scm/cq/



お問い合わせは、IBM ビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員または、ダイヤル IBM (0120-04-1992) へ。
受付時間：月～金 9:00～18:00（祝日 12/30～1/3 を除く）
携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤル IBM 03-6220-8002（この場合通話料金はお客様のご負担となります。）

© Copyright IBM Corporation 2008

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan
2008 年 11 月
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Rational および ClearQuest は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Microsoft は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。

本書に含まれる情報は、情報提供のみを目的に提供されています。本文書の情報の完全性および正確性については最善の努力を払いましたが、本文書の内容は法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。また、本文書は IBM の現在の製品プランまたは戦略に基づくものです。この製品プランまたは戦略は予告なく変更されることがあります。IBM は本文書およびその他関連文書の使用に起因するいかなる損害についても責任を負いません。本文書に含まれる内容は、IBM またはそのサプライヤーもしくはライセンサーによるいかなる保証または説明も提供する、またはその効果があると見なされるものではなく、また IBM ソフトウェアの使用について規定し適用される使用許諾契約書の条項を変更するものではありません。

お客様は自己の責任で法規定を遵守しなければならないものとし、お客様のビジネスに影響を与える可能性がある関連法および法的要求事項の確認と解釈、並びにかかる法を遵守するためお客様がとる必要のある措置に関して、弁護士の適切な助言を得ることはお客様のみにかかわる責任とさせていただきます。